

教科目名 日本語表現法 (Japanese expression)

学科名・学年 : 全学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23. 25 時間)

担当教員 : 相本正吾

| 授業の概要 | | | |
|---|--|--|-----------|
| 作文とディスカッションの基礎知識や基礎技術を確認しつつ、実際の文章作成の作業やディスカッションの実践を通して、日本語を論理的に正確に書く及び話す聞く基礎力応用力や文章を書く楽しみを身につけるようにしたい。実用的文章の作成や文学的文章の創作も行う。常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・評論用語の学習を授業及び定期試験で行い漢字・語句の力を身につけるようにする。 | | | |
| 達成目標と評価方法 | | 大分高専目標 (G1), JABEE 目標 (f) (g) | |
| (1) 文章作成やディスカッションの基礎事項や基礎技術を確認し身につける。(プリント・定期試験) | | | |
| (2) 決めた時間内・字数内で文章が作成できるようにする。(プリント・提出課題・定期試験) | | | |
| (3) 提出課題の課題作文では、採点評価において 50 点中 40 点以上になるようにする。(提出課題) | | | |
| (4) 行うディスカッションでは、評価が 30 点中 25 点以上になるようにする。(課題の提出も含めた発表) | | | |
| (5) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・評論用語の力をつける。(プリント・定期試験) | | | |
| 回 | 授業項目 | 内 容 | 理解度の自己点検 |
| 1 | 文章作成の基礎事項の学習 (1) | ○文章作成の基礎事項 1 (文体・表現)を確認する。 ○基礎事項 1 の学習を踏まえて文章を作成する。 ○文章作成の基礎事項 2 (一文の構成)を確認する。 ○基礎事項 2 の学習を踏まえて文章を作成する。 ○文章作成の基礎事項 3 (全体の構成)を確認する。 ○基礎事項 3 の学習を踏まえて文章を作成する。 ○与えられた題目について文章を作成する。 | 【理解の度合い】 |
| 2 | 文章の作成 (1) | | |
| 3 | 文章作成の基礎事項の学習 (2) | | |
| 4 | 文章の作成 (2) | | |
| 5 | 文章作成の基礎事項の学習 (3) | | |
| 6 | 文章の作成 (3) | | |
| 7 | 文章の作成 (4) | | |
| 8 | 後期中間試験 | | 【試験の点数】 点 |
| 9 | 中間試験の解答と解説 文章の作成 (5) | ○実用的文章の作成を行う。 | 【理解の度合い】 |
| 10 | ディスカッションの基礎事項 (1) | ○ディスカッションの基礎や技術の確認 (1). ○ディスカッションの基礎や技術の確認 (2). ○与えたテーマについて各班で討議し聞く発表と評価を行う。 ○与えたテーマについて各班で討議し聞く発表と評価を行う。 ○与えたテーマについて各班で討議し聞く発表と評価を行う。 | |
| 11 | ディスカッションの基礎事項 (2) | | |
| 12 | ディスカッション (1) | | |
| 13 | ディスカッション (2) | | |
| 14 | ディスカッション (3) ・まとめ | | |
| 15 | 後期期末試験 | | 【試験の点数】 点 |
| | 期末試験の解答と解説 | | |
| 履修上の注意 | そのつど渡すプリントを A4 版のファイルに綴じて学習を行う。 | | 【総合達成度】 |
| 教科書 | 授業でそのつど渡すプリントをテキストとする。 | | |
| 参考図書 | 特になし。 | | |
| 自学上の注意 | 提出課題の課題作文は授業中、及び、遅くともテキストの提出までに完成させておくこと。 | | |
| 関連科目 | 地域日本文学, 現代文 | | |
| 総合評価 | 達成目標 (1)~(4) は定期試験, テキストの提出, ディスカッションで評価する。テキストの提出 (計 4 回) とその評価, ディスカッションの評価を課題点とする。総合評価 = 2 回の定期試験の平均点 × 0.7 + 課題点 (30 点満点)。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は総合評価が 60 点未満の者に対して実施する。 | | 【総合評価】 点 |